



# ともしび

発行・城北地区社会福祉協議会(丸亀市大手町二丁目1番20号 丸亀市中央公民館 ☎24-1392)

城北地区人口  
 世帯数 3,230  
 人口 7,930人  
 男 3,764人  
 女 4,166人  
 65歳以上独居者  
 321人  
 (9月1日現在)

## 人気の「夢くじ」倍増

### 屋外、屋内 多彩な催し



多くの参加者でにぎわった第1回ほくほくふれあいまつり

芸など地区住民のご自慢の作品を展示。折り紙教室も催されます。また、健康相談所も開設されます。遊び疲れたらモーニングセットで一休み、という趣向も。

昨年好評だった「夢くじ」、今年は二倍の二千枚が販売されるなど昨年に比べスケールアップ。

詳しいプログラムは各家庭に配布されていますが、競技プログラムは別表の通り。

第2回「ほくほくふれあいまつり」が十月五日午前九時から城北小学校で開かれます。グラウンドでは各種競技やシートベルト着用効果体験車の乗車体験、消火器の実演が行われます。また、食べ物、ゲーム、フリーマーケットなどのテントがずらりと並びます。

体育館では絵画、書道、手

### 競技プログラム

- 血(尿)圧測定(婦人による風船割り)
- 少林寺拳法演武
- 輪投げ..... 壮年以上男女不問
- 三輪車リレー  
..... 男女別1~6年各1人  
子供会または児童会単位で
- ビール(350cc)早飲み競争  
..... 青年以上 男女不問
- パン食い競争..... 幼稚園、保育所
- 自転車のリム回し競争.....  
..... 壮年以上 男女不問  
1チーム5人
- 玉入れ..... 老年及び幼稚園、保育所
- 飴食い競争..... 小学生以下
- 大縄跳び..... 小学生以上  
1チーム10人 男女不問
- ウルトラクイズ..... 小学生以上

## 長所、問題点を探る 公民館設置推進委員 城西公民館を見学

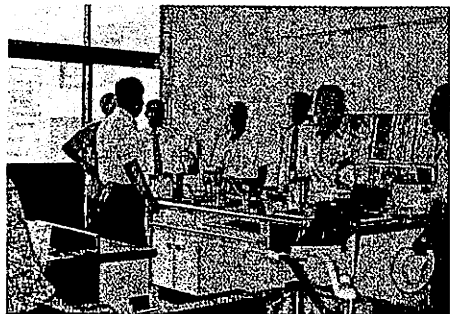
城北公民館設置推進委員会の委員十二人が八月二十九日、三月に完成した城西公民館「プルヌス城西」を視察しました。敷地面積約二千平方メートル、建物の床面積約七百平方メートル。外観を城下町に調和するように設計されています。

身体障害者への配慮から、玄関にスロープを設け、車いすでトイレが利用できるようにしています。料理教室にも参加可能です。また、老人いこいの間は、

廊下と段差をなくすなどの気配りがなされています。この他、大会議室、小会議室、軽運動室、講座室、図書館などがあり、いずれも最新の設備です。

半面、ちょっとした用事で事務所に行くのにも、履き物を脱がなければならぬ不便さがあります。ロビーはもつと広さがほしい。掲示のための壁面の有効利用に一工夫ほしいところも目につきました。

この視察の結果を城北公民館の参考にするにはもちろんのこと、地区民が多くの希望、意見を出し合って、よりよいコミュニティセンター建設を一日も早く実現したいもの、というのが、見学した多くの委員の感想でした。



城西公民館内部を見学する委員

# 実のある活動へGO

## 福祉保健推進委員が初研修

新しく発足した福祉保健推進委員の研修会が、城北・城乾・城西三校区合同で八月六日、市民会館で開かれました。城北地区からは八十二人の委員が出席して熱心に受講しました。

米市での活動事例を映画化した「支えあうたしかな手」の上映が続ききました。研修会終了後、三木福祉保健部長から、三校区会長に委員の委嘱状が一括交付されました。今後は地区住民と委員が一体となって、うるおいのある町づくりに取り組むことが期待されます。

初めに片山市長から委員設置の経緯説明と「積極的な活動を期待します」とのあいさつがありました。このあと、大山社会福祉課補佐から委員の用務についての説明、久留

# テニス、柔道優勝

## 丸亀市民体育祭 城北地区が健闘

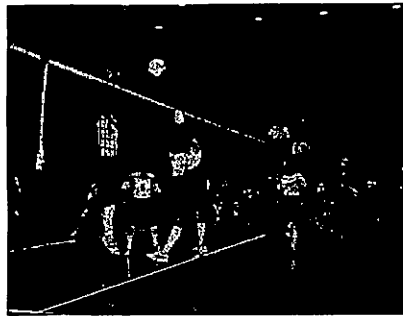
今年の丸亀市民体育祭は九月七日の柔道で開幕。市体協支部対抗で九月十五日までに十四競技、二十一種目が終わりましたが、城北支部は得点競技、十四種目に出場。テニス、柔道で優勝したほか各種目で健闘しています。

今年度の健全育成を目的として丸亀市少年を守る母の会が「すくすくクラブ」が誕生します。毎月第三水曜日、午前九時半から十一時まで、総合会館四階大広間で開きます。第一回は十月十五日です。

このあと十月二十六日の最終日まで陸上競技など三競技が続きます。うちバスケットボールなど七競技はオープン競技です。

城北支部のこれまでの戦績は次の通り。

テニス10点▽ソフトテニス(男子)4点▽同(女子)6点▽卓球(女子)2点▽バドミ



熱戦の城北女子バレーボールチーム

得点は一位10点、二位8点、三位6点、二回戦出場4点、一回戦敗退2点。

子供たちを元気で明るく育てたい—それは皆の願いです。しかし、しつけのこと、からだのことで、遊び方などいろいろ気になることがあります。

特に近所に子供の遊び相手がない、子供を見ていて自分も話し相手がない、という悩みを持つお母さんも多いはず。そんなお母さんたちのための場所「すくすくクラブ」が誕生します。

## 育児の悩みに答えます 「すくすくクラブ」誕生

身長や体重を測ったり、相談をしたり、他の人の話しを聞いたりして、一緒に楽しい時間を過ごしませんか。母子保険推進委員、環境保健部のメンバーや保健婦さんが応対します。

## PTA母親代表が参加

### 市少年を守る母の会

少年の健全育成を目的として丸亀市少年を守る母の会が「すくすくクラブ」が誕生します。

毎月第三水曜日、午前九時半から十一時まで、総合会館四階大広間で開きます。第一回は十月十五日です。

身長や体重を測ったり、相談をしたり、他の人の話しを聞いたりして、一緒に楽しい時間を過ごしませんか。母子保険推進委員、環境保健部のメンバーや保健婦さんが応対します。

| 事業予定表 |                                   |   |  |
|-------|-----------------------------------|---|--|
|       | 10月                               | 11月   | 12月  |
| 総務部   | 広報発行<br>第二回<br>ほくほくまつり            | 編集委員会   | 編集委員会  |
| 福祉部   | 誕生月花鉢プレゼント<br>独居老人友愛訪問<br>共同募金に協力 | 誕生月花鉢プレゼント<br>独居老人友愛訪問<br>独居老人給食サービス<br>防火週間運動に協力 | 誕生月花鉢プレゼント<br>独居老人友愛訪問<br>チャリティバザー協力<br>歳末助け合い運動協力 |
| 環境保健部 | 住民健康相談協力<br>ほくほくまつり協力             | 住民健康相談協力  | 城北小もちつき大会<br>参加                                    |

結成されていますが、青少年の実態を広く把握できるように、PTA母親代表が加わり、会員の平均年齢が若返りました。

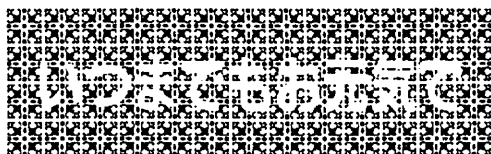
今年度はフレッシュまるがめ秋まつりへの参加も計画しています。この他にも、より積極的な活動を、と会員四十六人は熱意を持って取り組んでいます。

城北校区の会員は次のみなさんです。

- ▼城北小PTA母親代表 杉本たけ子、岩崎智子
  - ▼東中PTA母親代表 矢野素子、鷺岡美智子
  - ▼主任児童委員 山崎裕子
- 詳しくは広報「まるがめ」八月号に掲載されております。

城北地区95歳以上 (平成9.12.31まで) 敬称略

|           |             |              |
|-----------|-------------|--------------|
| 藤井 千里 (女) | 御供所町一丁目7-17 | (明治30.8.21)  |
| 宮本 トミ (女) | 魚屋町40       | (明治32.1.22)  |
| 大西 八重 (女) | 御供所町二丁目1-1  | (明治33.9.30)  |
| 島 かね (女)  | 富士見町五丁目7-8  | (明治33.12.10) |
| 濱田於セヨ (女) | 北平山町一丁目4-23 | (明治34.1.3)   |
| 馬場 政 (女)  | 土居町三丁目10-7  | (明治34.8.27)  |
| 三木 茂 (女)  | 御供所町一丁目7-11 | (明治35.8.13)  |



## 市二番目の長寿地区

### 敬老会、台風で中止

「敬老の日」の九月十五日、城北小学校で城北地区の敬老会が開かれ、台風十九号接近で中止となりました。

七百八十七人のお年寄りが招かれる予定でしたが、市内では城坤校区に次いで二番目に多い人数です。

### 11月から 別別収集

招待者の所へは、関係者が手わけして記念品や小学生の手紙、草花などを届けました。城北地区の長寿者は、九十歳以上が四十九人、うち九十五歳以上が七人です。最高齢者は御供所町一丁目、藤井千里さんです。

ペットボトルの別別収集が十一月から実施されることになりました。詳細については、自治会長から近々各家庭に、説明があります。よろしくご協力下さい。

### 看護技術体験も

#### 介護教室開く

高齢化が進み、在宅福祉が重要視されているところから、城北地区社会福祉協議会などの主催で九月十七日、妙見宮で介護教室が開かれました。

### 西原さん(瓦町)が優勝

#### 高齢者自転車大会

丸亀市の第二十二回交通安全高齢者自転車大会が八月十九日、東中学校体育館で開催されました。

今年、二十九人が米寿を迎えられ、共に八十歳以上のご夫婦が三十二組おられます。

#### ペットボトル

逸しましたが、個人戦で西原武夫氏(瓦町)が安定したハ

ンドルさばきで見事優勝を飾りました。

## 兄弟姉妹学級で歌声競う

### 東中学校長・山地三治

本校では、毎年九月の末に「東雲祭」と呼ばれる文化祭を行っています。ステージ発表や各種イベント、三年生のバザーなど、たくさん催し物が行われます。その中でも、最も盛り上がるのが「兄弟姉妹学級コーラス大会」です。

「兄弟姉妹学級」というのは、一年生から三年生までの一学級ずつがいっしょになって作る百十人前後のグループを言います。その

### 歌声競う

百十人前後のグループが、コーラス大会当日は声量豊かに、しかも美しい歌声を競い合うのです。

練習は三年生が自主的に計画を立て、アルト、バス、ソプラノの各パートに分かれ、各パートリーダーが下級生を指導するという形で進められます。練習を進めるのも生徒なら、指導もピアノ伴奏もすべて生徒が行います。毎年このコーラス大会を通じて、三年生は最上級生としての自覚を強め下級生は三年生の精いっぱい頑張る姿を見て、全員が協力していくなかで成長していつてくれます。

今年も、九月二十六日、会場である丸亀市民会館大ホールに東中生のすばらしい歌声が響き渡りました。協力することを通じて得たこの日の感動が、生徒達の今後の学校生活の糧となったことと信じています。



コーラス大会ステージ風景

### 学園の現場から

# 子供の泳ぎ場「汐入川」

城北校区の古い町名を、ひととおりウオッチングしてきしたが、それにしても往時と比べると大いに面影を変えた場所も多い。

第一は東汐入川である。私達の少年期は大正から昭和初期で、そのころ汐入川はまだ奇麗であった。夏、満潮になると、御供町橋あたりから渡



## 河野 智人

場へんにかけて満々と潮をたたえ、われわれは橋の上からダイビングをして大いに泳ぎを楽しんだものだ。魚も釣れたし、潮が引くとカニなど捕れて、ゆでて貰うと結構食べられたものである。

それが何時か見るも無残なドブ川に変じたのは、戦後間もなくであったろうか。民家からゴミや、生活のあらゆる残滓(さい)が、近く遠くか

ら捨てにきて異臭を放った。

これを旧国道十一号線から北へ、御供所の漁港の水門まで暗渠(きよ)にして現在の姿になった。その機会に、か

の都市計画の基本計画ができた。その時に東汐入川は、海からお城をつなぐ緑道にしよう、という考えが織り込まれていたからである。

城北校区北部の海岸線も大きく変わった。富士見町は久しく藤原埋立地といっていた。



え・青木ゆかり

ねて狭さに悩んでいた城北小学校の運動場を南に広げた。ただし、汐入川を全部暗渠にしたわけではなく、今の歩道の下がそれで、あとは全部埋め立てて緑道にしたが、これ

には次のような訳があった。昭和五十五年に戦後の丸亀

藤原という建設業の人の埋立地で、永らくその人の家が手前の方に一軒ぼつんと建っていて、あとは今の競艇場あたりまでで、先の方は捨て石だ

# 土居町飛び地「上真島」

けの波打ち際であった。引き潮になると、上真島は歩いてでも行けそうに近く見えた。

上真島といえは、当時、島の上に祠(ほこら)があり、土居辺りや御供所の漁船などがよく渡って世話をしていたようだ。昔は城北地区に属して、土居町の飛び地であったが、今の住居表示は「丸亀市上真島」となっている。ちなみにいえば下真島は「中津町字真島」という。

丸亀病院は移転したが伝染病の隔離病舎が北の端にあつて、その塙の外に接して、あるかなきかの道があり、すぐそこまでが海で漁船をもやいでいて、御供所の「えびす神社」は、それに続いた海岸ぶちであった。

今は昔、予讃土讃の鉄道も雑草の茂った土手から高架になり、煙を吐く機関車は軽快な電車となって走る。踏切の遮断機も、ちんちんと鳴る警報器の音も、知らぬ世代が増えてゆくことであろう。

(おわり)

## どうぞよろしく

サンハイツ大手町自治会(真鍋和孝会長)が新しく結成され、城北校区連合自治会に入りました。

大手町一丁目三一、サンハイツ大手町の入居者二十七世帯で構成されています。自治会事務所は大手町一丁目三一、四〇五号。

## あとがき

少子高齢化は城北地区でも例外なく深刻になっていきます。お互い同士で支え合い豊かな心と生きがいの実感できるような地域にしたいものです。

この「ともしび」も皆さんに支えられ、みんなに親しまれる身近なコミュニティ情報紙となるよう心から願っています。

間もなく秋祭りシーズン到来。地域の結び付きを、何よりも感じさせてくれるのが、お祭りです。出掛けてみませんか。

(篠)

◆次回の「ともしび」は十年一月一日発行の予定です。